



市内を走る路線バス

**生活できる公共交通を
答 バス路線の維持は重要だ**

西畑 利彦 議員
(共産党)



幼保連携型認定こども園整備用地
(同志社山手地内)

**保育士の処遇改善を
答 臨時職員は賃金を経年加算**

岡本 亮一 議員
(共産党)

〇 憲法9条を改憲せずに「憲法9条を守れ」の声を市民の代表である市長が、国に対し意見表明すべき。

〔市長〕憲法は守っていくものだと思う。

〇 保育所の待機児童問題について、これまで保育士の確保や処遇改善を求めてきたが、その後の進捗状況は。

〔総務部長〕4月以降、正職員13名、任期付職員10名を採用した。現在、待機児童数は途中申し込みの方とあわせて合計95名となっている。また、臨時職員の確保や待遇改善策として、経年数により賃金を加算する制度や、保育士登録の際にかかる手数料の助成を実施するための補正予算を提案した。

〇 三山木地域で、保育施設を整備することだが、その概要は。

〔市長〕三山木地区特定土地区画整理事業区域の23街区に定員約70人の規模で保育所を同志社山手四丁目定員約200人の規模で幼保連携型認定こども園を、ともに平成31年4月の開園を目指し、民営民営方式による整備を計画している。

〇 学童保育について、事件・事故・災害などの発生時に保護者へ情報を速やかに伝達することができるよう「学童連絡網システム(仮称)」の導入を求める。

〔教育部長〕必要な情報については、保護者へ電話連絡をしており、連絡体制が不十分であるとは考えていない。

〇 人口減少、高齢化社会で「車がなくても生活できる、便利でええやん」京田辺」と言っているの公共交通を。

〔建設部長〕バス路線は大事な公共交通の1つ。立地適正化計画と併せたバス路線の維持は重要と考える。

〇 本市「総合戦略」での人口減少に至る原因分析が不明。人口維持には、安定した就労、賃金、住環境、職人の育成、子育て支援、地域コミュニティなどを充実するべき。また、人口減少による公共施設の削減は考えているのか。

〔理事〕本市「総合戦略」では、人口減少を抑え、少子・高齢化社会に対応した施策を実施していく。公共施設の具体的な削減は掲げていない。

〇 人口が2040年には

2割減少し、購買力が低下する。人の流れも変わる。人口減少下での大型開発は、市民に効果検証を明確に示すべき。

〔理事〕市民と情報を共有し、説明責任を果たして進める。

〇 本市に集中豪雨に対応した要注意マップはあるのか。

〔建設部長〕平成21年度に調査し、地図に落とし込んでいる。

〇 難聴者の障がい判定に語彙の聞き取りも加えるべき。また、窓口対応や災害時の意思疎通を高めるため、標示(バッジ)を普及しては。

〔健康福祉部長〕語彙の聞き取りについては、語音明瞭度の検査を行っており、判定要素の1つに含まれている。行政窓口設置している耳マークは、カードやバッジの形で使用方法も想定されている。

〇 避難所運営訓練はどのように充実していくのか。

〔危機管理監〕これまでのアンケートなどを参考にし、区・自治会と協議した上で、より実効性のある内容に改善し、実施していきたい。

〇 小・中学生を対象に避難所運営訓練をすべき。

〔教育部長〕児童・生徒の参加や保護者のかかわりについて、関係機関と協議する。

〇 運動会などの地域行事の中に、シェイクアウト訓練、バケツリレーなどの防災訓練を取り入れてはどうか。

〔消防長〕地域との関係強化につながるので、今後、地域の意向も十分に考慮しながら検討していく。

〇 子どもはガン教育・自殺防止教育・平和教育などの

命の大切さをもっと学ばべき。

〔教育部長〕発達段階に即した教育活動全体を通して、命の大切さを学ぶ取り組みの充実を図る。

〇 18才選挙権となり、子どもたちの意識が高まっている。今こそ主権者教育をもっと充実していくべき。

〔教育部長〕発達段階に応じた主権者教育の取り組みが重要であると考えている。

〔教育指導監〕授業の中で討論をしながら学んでいくことを身につけさせていきたい。

〇 熱中症予防のため、学校や公共施設のトイレ改修と同時に冷水機を設置すべき。

〔総務部長〕最新のウォータークーラー等の設備については、今後の検討課題とさせていただきます。



田辺中央体育館

**民泊新法進める考えは
答 地域経済の発展に好影響**

河本 隆志 議員
(みらい京田辺)



避難所運営訓練の様子
(草内小学校)

**避難所運営訓練の充実を
答 実効性ある内容に改善**

河田 美穂 議員
(公明党)

〇 民泊新法(住宅宿泊事業法)を積極的に進めるのか。

〔経済環境部長〕観光客の来訪や滞在が促進され、地域経済の発展に好影響をもたらすことを期待している。

〇 民泊新法を空き家対策の一環として、本市の見解は。

〔経済環境部長〕届け出制度の創設による管理することで、空き家対策につなげたい。

〇 城陽市消防本部で、水難救助訓練の際に死亡事故が起きた。本市での訓練対応、安全管理等の体制は。

〔消防長〕安全管理要領の整備を図り、安全管理体制の徹底を図っている。

〇 潜水訓練は専門的知見も必要だが、どのように対応しているのか。

〔消防長〕潜水士免許を保有し、実践的な水難救助訓練を行う外部機関の研修を修了した者が専任している。

〇 魅力ある消防団を目指し、資格等を柔軟に取得できる制度を確立しては。

〔消防長〕各種資格取得の支援制度等を含め研究したい。

〇 公立幼稚園保育室への空調設備設置は。

〔教育部長〕幼保連携を含め、市全体の施設整備計画に合わせて取組む。

〇 中央体育館の空調設備設置は。

〔建設部長〕有利な補助金などの財源確保を研究したい。

〇 教育施設や商業施設への共通投票所設置の考えは。

〔選挙管理委員会事務局長〕多くの課題が考えられ、引き続き研究課題としたい。

〇 避難所運営訓練はどのように充実していくのか。

〔危機管理監〕これまでのアンケートなどを参考にし、区・自治会と協議した上で、より実効性のある内容に改善し、実施していきたい。

〇 小・中学生を対象に避難所運営訓練をすべき。

〔教育部長〕児童・生徒の参加や保護者のかかわりについて、関係機関と協議する。

〇 運動会などの地域行事の中に、シェイクアウト訓練、バケツリレーなどの防災訓練を取り入れてはどうか。

〔消防長〕地域との関係強化につながるので、今後、地域の意向も十分に考慮しながら検討していく。

〇 子どもはガン教育・自殺防止教育・平和教育などの

命の大切さをもっと学ばべき。

〔教育部長〕発達段階に即した教育活動全体を通して、命の大切さを学ぶ取り組みの充実を図る。

〇 18才選挙権となり、子どもたちの意識が高まっている。今こそ主権者教育をもっと充実していくべき。

〔教育部長〕発達段階に応じた主権者教育の取り組みが重要であると考えている。

〔教育指導監〕授業の中で討論をしながら学んでいくことを身につけさせていきたい。

〇 熱中症予防のため、学校や公共施設のトイレ改修と同時に冷水機を設置すべき。

〔総務部長〕最新のウォータークーラー等の設備については、今後の検討課題とさせていただきます。